



受給者証ってなに？



前号の「高等部卒業後の福祉サービス利用について」で掲載した中に、「受給者証」というワードがありました。今回は、その「受給者証」について触れてみたいと思います。

本校在学中に利用するサービスの一つに、放課後等デイサービスがあります。放課後等デイサービスを利用している方は、すでに「受給者証」を取得していますが、例えば、卒業後に就労継続支援B型等の事業所を利用しようとする、あらためて「受給者証」が必要となります。受給者証を持っていた方の中には、「何が違うのだろう」という疑問をもたれる方もいるかと思いますが。

放課後等デイサービスは、障がい児通所支援なので「通所受給者証」(①)という名称の受給者証が発行されます。一方、卒業後の福祉サービス事業所の利用は、基になる法律が違うので、「障害福祉サービス受給者証」(②)が発行されます。

そのため、高等部卒業近くなると、あらためて福祉事務所に申請して受給者証を発行してもらう必要があります。その際、「何が受給できるのか?」という疑問もわいてきます。B型の事業所で作業をすると、仕事量に応じて工賃が支給されますが、同時に福祉サービス利用料金も発生します。事業所によって金額は異なりますが、1回5千円～1万円の間くらいです。

「えっ!!!」と思いませんか？



仮に1回5千円として、月に20回利用したとすると、10万円の利用料となります。どんなに頑張っても、大赤字となりますね・・・。

ですが、健康保険と同じ考え方で、受給者証があれば利用者負担は、その1割となります。また、所得に応じて上限が決まりますので、1か月の上限が5千円や0円という場合もあるようです。

つまり、サービス利用料が軽減されるということになります。

(直接お金をもらうわけではありません)

利用料は、福祉事業所の収入となりますので、どの事業所でも定員いっぱいの利用があるとよい訳です。そのため、事業所では定員ギリギリとなっていることが多いのです。



①

通所受給者証	
受給者証番号	XXXXXXXXXX
居住地	市 △△
フリガナ	〇〇〇〇 〇〇〇〇
氏名	〇〇 〇〇
生年月日	昭和〇年〇月〇日
フリガナ	〇〇〇〇 〇〇〇〇〇
氏名	〇〇 〇〇〇
生年月日	平成〇年〇月〇日
交付年月日	平成〇年〇月〇日
支給市町村名 及び 印	市 福祉事務所長 印

② (一)

障害福祉サービス	
受給者証番号	
居住地	
フリガナ	
氏名	
生年月日	
フリガナ	
氏名	*****
生年月日	*****
障害種別	3
負担上限月額	9,300円
適用期間	平成27年 3月11日から平成27年 6月30日まで
交付年月日	平成27年 3月11日

高等部2年生の実習の様子

2年生は、一般企業と福祉サービス事業所など、延べ9つの事業所で実習を行ってきました。前回とは別の事業所、初めての実習先で2週間（9日間）実習に取り組んだ生徒もあり、経験を広げるとともに、卒業後の進路についてそれぞれ考えることができました。今後は12月の進路面談で実習の成果と課題を確認し、次年度の実習先候補について検討・調整していきます。

ケーズデンキ佐沼店

- ・荷受け、検品、仕分け・補充
- ・品出し等



わらいの館四季 生活介護

- ・創作活動
- ・余暇活動



第二はんとく苑 生活介護

- ・電子部品の組み立て
- ・プラスチック部品の仕分け

ウジエクリーンサービス

- ・店舗の窓清掃



松下塗装

- ・自動車部品塗装補助

パレット・グランヴィア 生活介護

- ・創作活動
- ・余暇活動



迫りコー株式会社

- ・ネジ締めめのトレーニング
- ・部品組み立て

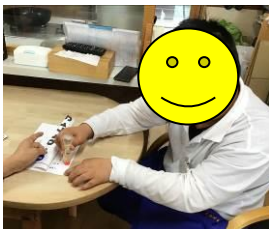
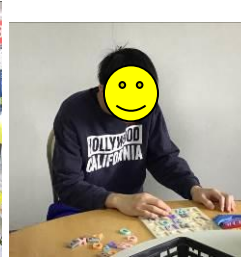
イオンスーパーセンター佐沼店

- ・品出し、前出し
- ・カート整理



つなぐ 就労移行

- ・ソーシャルスキルトレーニング



生徒のみなさんの感想（抜粋）

- 分からないことを自分から聞くことができました。
- 休まないでできたことが良かったです。
- 早寝早起きをして、体調管理をしっかりすることができました。
- 初めてのところでしたが、支援員さんと一緒に活動して過ごすことができました。
- 支援員さんの指示を聞いて、みんなと一緒に作業を続けることができました。
- 実習中に次にどこで作業するのかを確認して、5分前行動をとることができました。
- 朝の運動を頑張って、体力をつけたいと思いました。

保護者の方の感想（抜粋）

- 本人のやる気も行く気持ちも今回の実習は前向きにできたと思います。これからの残りの実習も本人がこれをして、してみたいと思えるように頑張ってもらいたいです。
- 本人が楽しいと思えるような場所に行かせてあげたいと思いました。
- 本人の希望するものと実際の能力みたいなものが合っていなかったのが、今後の進路選択が難しいと思いました。
- 子どもに合った仕事が再確認でき、良い機会でした。

高等部1年生の実習の様子

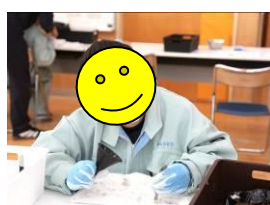
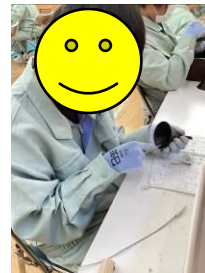
後期は、校内実習とグループ実習に分かれて実習を行いました。

校内実習は、受託作業のろうと清掃を行いました。2回目の現場実習ということで、目標をもって落ち着いて取り組むことができました。生徒たちは前期に比べ、作業のスピードや正確性が向上していました。

グループ実習は、一般企業で実習を行いました。初めは慣れない環境で戸惑いもあったようですが、徐々にペースをつかみ、与えられた仕事に一生懸命に取り組むことができました。企業の方からもコミュニケーションをとっていただき、仕事へ臨む姿勢など、限られた時間の中でたくさんのことを学ばせていただきました。

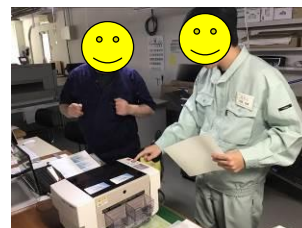
○校内実習

- ・東北イノアック（受託作業協力企業）
ウレタン注入用ろうとの清掃作業



○グループ実習

- ・川内印刷株式会社・・・箱折り、製本、シールのデザイン、印刷 等



生徒のみなさんの感想（抜粋）

- 早寝早起きをして、体調管理をしっかりして、朝元気にあいさつすることができた。
- つかれてもしじをきいてがんばりました。
- 自分から話すのが苦手だったけど、仕事が進まないと思ったので勇気を出して聞くことができた。
- 仕事の内容を確認することや細かいところもていねいに、きれいに仕事をすることができた。
- ゆっくりさぎょうをつづけることができた。
- 今回はしゅうちゅうがきれたときがあった。次回はしゅうちゅうしてがんばりたい。

保護者の方の感想（抜粋）

- 職場への行き方もバスの乗り方を覚え、通勤ができていたので選択の一つとしてありだと感じました。
- 集中力を身に付けることを練習していこうと思いました。
- 仕事の内容や本人の体の都合で可能かどうかを深く考えました。
- 安心した環境でしっかり見守られていれば単純な作業がこなせることが分かりました。